

編集後記

●本誌タイトルの変更については、1年前から読者アンケートをとり、編集部内でも論議を重ねてきましたが、1001号を前にようやく合意に至りました。これまでの100号を継承する意味であえて第1号とせず、1001号とします。今号の題字は若手の書家横島優子さんにお願いました。題字のデザインについては、あと2〜3回試行錯誤を繰り返すこととなります。読者の皆様のご感想をお待ちしています。

●「骨にうたう」の竹内浩三の全集を読み、機知あふれる繊細な若者の魂に感銘を受けました。失恋の体験を書いた文章の一節。「――その割には、かの女はもえ上らなかつたようである。ふたりの間をゆききした手紙の量がそれを示しているにちがいない。私が出した手紙で御飯がたけるとすれば、かの女がくれた手紙で味噌汁がわか

せる、と言った割合である」。

●西野瑠美子さんはある放送人に、「天皇、慰安婦、ジェンダーはNHKの3大タブー。この番組はその全部にわたっているんだから、問題になるのは当然」と言われたそうです。どうすれば放送界からタブーをなくせるか。日本が民主主義国といえるかどうかがかかっています。

●編集委員 天野恵一、有馬保彦、井上澄夫、北原博子、佐橋弥生、杉内蘭子、高橋武智、西田和子、古澤宣慶、細井明美(次号担当)、道場親信、本野義雄(本号担当)、諸橋泰樹、吉川勇一、吉田和雄

会計係より

◆3月10日の集会在満員の盛況で事務局一同、盛り上がっています。次は意見広告の目標達成です。締切はもうギリギリです。まだの方は大至急お申し込みを。

◆会員の方からは意見広告運動へ多額の賛

同金をお寄せいただいたのですが、それでも、本会への会費前納やカンパも多く、連続1年以上、会の基本会計は黒字続きです。感謝いたします。しかし、次期は、2年ごとの事務所賃貸や火災保険の更新があり、この記録、延びますかどうか。

◆毎号ご報告しているのですが、会員数は僅かずつではあるものの、減少傾向が止まっておりません。「字が読めなくなつて……」といった、高齢化のため以外に、「年金が減った上に医療費が高み……」というような現政権による弱者切り捨て政策の影響もはつきりしています。何としてでも格差拡大政策をやめさせねばなりません。

◆見本誌用になりに増刷しています。お知らせで読者になってくれそうな方の宛先を送ります。読者の拡大にご協力を。

**市民の意見 30の会・東京
2007年1月～2月会計**

1. 収入	
一般会費	354,660
協力会費	121,700
敬老会費	172,000
障害者会費	19,500
(会費小計)	667,860
カンパ	159,130
ニュース販売	7,400
書籍販売	1,600
バッジ等販売	4,100
集会参加費(*1)	4,200
利子	1,672
預かり金(*2)	180,130
立替金精算(*3)	26,392
収入計	1,052,484
2. 支出	
印刷費(*4)	253,206
発送費(*5)	196,500
通信費(*6)	35,742
事務用品	21,355
編集費	20,640
会場費(*1)	8,000
交通・運搬費	66,260
事務所費(2カ月分)	220,000
光熱費	15,619
送金手数料	1,470
賛同費(*7)	2,000
雑費	130
預り金返済(*8)	180,130
支出計	1,021,052
3. 収支	
前月からの繰越	5,370,423
次月への繰越	5,401,855
残高の内訳	
会基本会計	3,475,293
条約基金	176,715
次期意見広告	1,326
F/I基金	1,715,820
預り金	32,701
計	5,401,855

注(*1) 読者懇談会2回分(*2) 意見広告賛同費の送金(*3) 意見広告運動の会の電話料・光熱費分担(*4) うち、News No.100印刷費¥249,336(*5) 内News No.99 発送費が¥129,600、3/10集会案内はがきが¥52,500(*6) 内biglobe料金が¥4,200、他は電話料(*7) 東京リビ'ック反対運動(*8) 意見広告へ